資料1－2

指定管理業務に係る事故・不祥事等の状況（令和7年度実績）＊指定期間4年度目施設

施設名	発生日	事故・不祥事等の状況 ①発生時の詳細な状況 ②所管課における現場確認の状況 ③その後の経過 ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無 ⑤原因及び費用負担の有無 ⑥記者発表の有無
伊勢原射撃場	―	該当なし
大船フラワーセンター	R7.4.21	①高齢の利用者が駐車場に向かう途中、よろけてケヤキの木に頭をぶつけ頭部を打撲。意識ははっきりしていたが、救急車を要請し搬送。 ②４月22日に報告を受け、５月14日に現地確認 ③なし ④なし ⑤利用者がエントランス脇でバランスを崩して転倒した怪我であり、園の瑕疵等はないことを確認 ⑥なし
	R7.4.29	①車いすの利用者がエントランス階段部で車いすごと転倒し頭部を打撲。ご家族の方が車いすから手を離したところ動き出し転倒したもの。後頭部を打撲し意識はあるが、救急車を要請し搬送。 ②４月29日に報告を受け、５月14日に現地確認 ③なし ④なし ⑤ご家族が車いすから手を離したところ、車いすが動きエントランス階段で転倒した怪我であり、園の瑕疵等はないことを確認 ⑥なし
	R7.8.3	①当園敷地外の山崎跨線橋交差点付近で、高齢女性が自転車に乗り信号待ちをしている際に、落枝が発生し前頭部と右手を打撲。消防署と警察に連絡をして、救急車を要請し搬送。 ②８月３日に報告を受け、８月21日に現地確認 ③ケガは回復し、後遺症はなし。現場周辺の道路側に出ている枝の剪定など早急に対応。 ④なし ⑤費用負担あり。指定管理者が施設賠償責任保険により負担 ⑥なし
	R7.11.20	①フラワーセンター職員が仮設ベンチの石の座椅子部分を退けようとした際にバランスを崩し、鼻骨部分をベンチの下部にしていたプランターにぶつけ打撲。目の間の鼻部分の打撲・擦り傷を負い、救急車を要請し搬送。 ②11月20日に報告を受け、当日現地確認 ③なし ④なし ⑤費用負担あり。指定管理者が労災保険により負担 ⑥なし

施設名	発生日	事故・不祥事等の状況 ①発生時の詳細な状況 ②所管課における現場確認の状況 ③その後の経過 ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無 ⑤原因及び費用負担の有無 ⑥記者発表の有無
津久井やまゆり園	R7.7.31 R7.8.31 R7.11.2	①普段は、御自分で行動を起こすことは少ない方であるが、発作による影響により立ち上がり、その後脱力したことから転倒し、骨折した。11月に入院し、手術を行った。 ②都度、県へ事故報告をしている。また、身体拘束の実施状況についても、月次報告をしている。 ③都度、通院し、医師の指示を仰ぐ。 御家族や後見人に連絡を行い、状況報告や謝罪を行った。 過去に、身体拘束（体幹拘束）を行っていたが、低床ベッド、音感センサーの購入等による環境整備により解除した。しかし、立て続けに骨折し、これ以上は命の危機に関わるという判断により、御家族と相談の上、臨時身体拘束適正化会議を開催した。開催に当たっては、多職種で検討し、三要件（特に一時性）について議論を交わした。その結果、御本人が普段と異なる様子が窺える際に、最小限の体幹拘束を再開することとした。 　普段と異なる様子（一人で立ち上がろうとする、御本人が好むタオルを普段以上に欲しがる等）が見受けられ、かつ支援者が個別に見守ることが難しい場合は、体幹拘束を実施して安全を担保する。身体拘束適正化委員会を月に１回以上開催し、状況確認と身体拘束継続の必要性について確認しながら進めている。以後、軽い転倒等ヒヤリハットを含めた報告はない。主治医との連携も更に密に行い、データ取りから始め、脳波検査や服薬調整等に取り組んでいる。 ④特になし。 ⑤加齢や、発作様が変わってきていることから支援者が気付きにくくなっているのも一因である。 骨折のため、やまゆりサポート協会「生活サポート総合補償制度」の適応あり。 ⑥なし。
芹が谷やまゆり園	R7.7.2	①従たる事業所「うみねこワークス」にて、作業終了後（15時30分頃）、職員が目を離したすきに男性利用者が外出してしまい、すぐに気づいて探すが見当たらず、所在不明となった。 ②事故報告の第一報、本報告にて確認（７月３日）。 ③すぐに職員による捜索を開始するとともに近隣交番及び港南警察署へ届出を行った。17時30分にコンビニエンスストアでの無銭飲食により警察に保護された。その連絡を受け、職員が迎えに行き引き受け、またコンビニエンスストアには謝罪と弁償を行った。負傷者はなし。職員体制と作業所環境の見直しを行い、再発防止に努めた。 ④無し ⑤事業所から戻る時間が遅くなり、職員も慌ただしい状況であったため、利用者把握が徹底出来ていなかったため生じてしまった。コンビニエンスストアに対し、本人の無銭飲食分実費を施設負担で支払った。 ⑥無し
	R8.1.25	①車いす利用の男性利用者が居室前の廊下で他の利用者とトラブルとなり、車いすを蹴り押された際、頭部右側がドアの金属部にぶつかり裂傷を負う。出血が止まらないため救急車を要請し、東戸塚記念病院に搬送された。 ②事故報告の第一報、本報告にて確認（２月２日） ③搬送先病院で、裂傷部をステープラーで６針を縫う処置を受けた。その後、このことによる意識や体調の変化もなく、2月2日に抜鉤した。発生後速やかに家族への状況説明と謝罪を行った。また、加害利用者との危険な接触が再発しないよう、職員の体制の見直しを行った。 ④無し ⑤職員の把握が不十分であったことが原因のため、治療費全額を施設負担とした。 ⑥無し

施設名	発生日	事故・不祥事等の状況 ①発生時の詳細な状況 ②所管課における現場確認の状況 ③その後の経過 ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無 ⑤原因及び費用負担の有無 ⑥記者発表の有無
三浦しらとり園	R8.1.27	① 本人の入浴後、職員と寮に戻り居室に入るのを確認する。職員が入浴後の衣類の洗濯をしていると、寮玄関の開閉の音が聞こえる。本人の居室を確認すると不在。急いで後を追うが見当たらない。寮内および園内の捜索を開始する。館内放送にて各寮在勤職員に捜索要請を行う。見守りカメラにて17：24に本人が本館から走って出ていく様子、その後コンビニ方向に園を出ていく様子が確認される。 ②神奈川県電子申請システムにて、第一報を即日報告。 ③母へ当園から出て行ってしまったことを報告し本人が行きそうなところは家電量販店と以前本人が通っていた放課後デイサービスであると情報を得る。所在不明より30分が経過し警察へ連絡しているさなか、母から電話があり放課後デイサービスにて保護された情報が入る。警察にはその場で発見された旨を伝える。近くを捜索していた公用車で本人を放課後デイサービスへ迎えに行く。本人が職員とともに帰園する。 (対策)今回も幸いにして無断外出後、無事発見に至ったが入寮時から見守り強化をしていた中、連続２度目の無断外出となってしまった。今後の対応について、園内会議を実施し協議をした。夜間の防犯施錠時間帯以外はマンツーでの対応、日課の再考、園内の情報共有、居室にセンサーの設置をするなどの対応を行った。当該寮だけの問題でなく園全体の問題として取り組む。 ④なし ⑤(原因)現在、７寮は朝７時～夕方18時30分は玄関の施錠を解除している環境下にあり、寮玄関扉にはセンサーチャイムを完備しているが、日頃から寮玄関の往来が多い為、センサーチャイムもそれに伴い反応する事でチャイムが鳴る事への警戒心や緊張感が全体的に薄れていた。 （費用負担)なし ⑥なし
愛名 やまゆり園	R8.2.19	①利用者が、園内単独移動中に出合い頭で職員と接触し、転倒した。当該利用者は、通院し、右上腕骨近位端骨折の診断を受けた。 ②県に第一報として事故報告し、改めて2/24に本報告を行った。 ③今後の機能回復を考慮し手術を受けた。その後リハビリを行い回復された。 ④職員に対して危険個所に係る再周知を図り、注意喚起を促した。これに関する指摘やクレームはない。 ⑤出入口が廊下面より窪んでおり左右からの往来が見えにくくなっていることによる構造的要因が大きい。見守りカメラにて状況確認し、再発防止策として注意喚起を促すポスターを掲示する。費用負担等はない。 ⑥なし

施設名	発生日	事故・不祥事等の状況 ①発生時の詳細な状況 ②所管課における現場確認の状況 ③その後の経過 ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無 ⑤原因及び費用負担の有無 ⑥記者発表の有無
厚木精華園	R7.10.19	①入浴のため脱衣所にて利用者のズボンを下ろす際、職員も支えながら、手すりによりつかまり立ちをしてもらった。立位の途中で本人の足の力が抜け、しゃがみこみ、右側へバランスを崩し、床にゆっくり着地した。職員は、本人の腰・上半身を支えたまま一緒に転倒した。本人から「痛い」と声が出た。床に座り込んだ状態でボディチェックとバイタルチェックを行った。外傷は見られずバイタルにも異常は見られなかった。看護師指示で、シャワー浴のみ実施した。血圧94/61、脈64、検温36.8、サチュレーション98％であった。 　翌日の朝から発熱（37.5℃）があり、右太ももの外側に小さな１センチ程度の痣を確認した。本人も右側臥位に倒れると痛みの訴えがあったため、外部の整形外科へ通院した。 ②10月20日に県に事故報告の第一報を行い、後に本報告を行った。 ③同日、医師による触診と右膝と大腿部のレントゲン実施の結果、膝に関しては異常なく、大転子の骨頭部位に古い骨折の痕があり、大腿骨上部にヒビのような線を確認したが、今回のものかは分からないため、１週間後にCT撮影をして詳細を調べるとの所見であり、痛み止めの処方を受取り帰園した。 　10月29日に再通院し、医師により触診・CT検査が行われた。右大腿部骨転子部骨折については、随分前からの骨折と確認した上で、手術を行うことで他の部分に影響が出て、更なる骨折を招いてしまうこともあることから、手術は行わないとの判断であった。骨折後、右足の筋肉で支えている事を鑑み、このまま経過観察することとなった。生活制限もなく、立上がりはスタッフが支えながら、左足に体重をかけての移乗することで、車椅子で過ごし、入浴も可能である。痛みがある時には、ベット上で過ごすよう指示を受けた。 ④なし ⑤原因として、つかまり立ちをしてもらう時、普段よりも立位が不安定の様であったことに気が付かなかったことが考えられる。また、因果関係は不明だが、夜間発作があり、一日体調が良くなかった可能性がある。立位が安定していなかった状態を確認していたため、職員２人で介助する等、普段とは違う方法で移乗するべきだった。さらに、対応職員の体調がすぐれなかったと自覚しており、対応に不安があったが、職員間で共有していなかった。利用者の安全を第一に行動をとるべきだった。 ⑥なし
湘南港	―	該当なし
葉山港	R8.3.18	①職員が自主事業のレンタルボート作業中に新港第2浮さん橋に着岸するボートとさん橋杭の間に右手を挟み負傷（骨折）した。作業中に職員が負傷したとき一緒に作業をしていたパート職員から報告、歩行可能のため管理事務所の救護室で待機。その後、事務職員が車で近隣の病院に搬送。骨折の診断で、治療を受けた。負傷した職員は帰宅。 ②事故発生を受け、モニタリングで葉山港に来所していた職員により状況確認。 ③負傷者の状況：全治２か月の診断となり、労災保険で対応した。勤務可能な状態であり、休業もなく現場復帰した。 ④無 ⑤原因：職員の不注意による負傷 　費用：労働災害保険で負担 ⑥無

施設名	発生日	事故・不祥事等の状況 ①発生時の詳細な状況 ②所管課における現場確認の状況 ③その後の経過 ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無 ⑤原因及び費用負担の有無 ⑥記者発表の有無
神奈川県総合リハビリテーションセンター	R7.6.14	① 七沢学園（粗暴行為）他利用者に掴みかかる 。他利用者の首と腕を強く掴んでおり、職員２名介入するも中々離さない。職員が何とか離すも、他利用者が居室へ避難するのを追い、居室に入り込み再度他利用者に掴みかかる。職員が引き離したところ、居室ドアを中から施錠。その後、居室ドアを外から蹴りつけた。本人へ対応していた支援員にも首・腕・手の掴みかかりや体を押す行為があった。怒りが中々落ち着かず、30分ほど不穏な状態が続いたが、クールダウン後、面談を行う。 ② ６月14日 県障害サービス課・千葉県鎌ケ谷市障害福祉課・厚木市障害福祉課 ③ 対応した職員は首と右手を負傷しており、６月16日受診し打撲の診断 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R7.8.3	① 七沢学園（自殺企図）ナースコールが鳴る。自傷の可能性があるので入室する。ドアに衣類の細い紐をかけ首に巻いている。紐はすぐ外れる。紐が外れた瞬間に食堂へ飛び出し、椅子を投げ未遂、テーブルに飛び乗り未遂。いずれも支援員が止める。23:30バイタルチェック異常なし。 ② ８月３日 県障害サービス課・松田町障害福祉課・厚木市障害福祉課 ③ グループホームへの移行準備を開始した。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R7.8.6	① 七沢学園（自殺企図）居室ドアの取っ手にズボンの紐を掛け、そこに首を入れ、直後にコールを押して職員を呼んだ。 ② ８月６日 県障害サービス課・松田町障害福祉課・厚木市障害福祉課 ③ グループホームへの移行準備を開始した。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R7.8.21	① 七沢学園（自殺企図）15:00頃、利用者が他の利用者に「居室で首を吊る」とメッセージを送信。職員が居室を開けると、取っ手にリボンのような紐を巻き首に掛けていたため、急いで紐を外した。職員対応中に居室を飛び出し、ユニット入口へ移動し食事ワゴンを突き飛ばし、入口ドアとロッカーを蹴る。その後、夕食配膳時にも首吊りしようとする行為が見られた。 ② ８月21日 県障害サービス課・松田町障害福祉課・厚木市障害福祉課 ③ ８月22日 県立精神医療センターへ医療保護入院となった。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R7.8.24	① 七沢学園（感染症）短期入所している利用者が、37.6度の発熱と鼻水のため帰宅。その後コロナ陰性だったとのご家族から連絡があった。その後、ユニットで９名が発熱し、コロナ陽性となった。 ② ８月24日 厚木保健福祉事務所・県障害サービス課・厚木市障害福祉課 ③ 利用者、職員計９名感染したが、重症化したものはいなかった。 その後感染拡大はせず、終息に向かった。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし

施設名	発生日	事故･不祥事等の状況 ①発生時の詳細な状況 ②所管課における現場確認の状況 ③その後の経過 ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無 ⑤原因及び費用負担の有無 ⑥記者発表の有無
神奈川県総合リハビリテーションセンター	R7.9.13	① 七沢学園（骨折）利用者がふざけて他の利用者の右足すね辺りを蹴った。蹴られて右足が痛かったようで、安全靴で足を蹴られたことの申出があった。 ② ９月16日 県障害サービス課・茅ヶ崎市障害福祉課・厚木市障害福祉課 ③ ９月17日 整形外科受診。骨折の診断。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R7.9.23	① 七沢学園（飲酒）本厚木へ単独で外出し、合流した女性友人と飲酒をした。友人が持参した缶のカルピスサワーを1本飲んだと、支援員に本人から申出があった。 ② ９月24日 県障害サービス課・愛川町障害福祉課・厚木市障害福祉課 ③ ９月24日 支援員より母親へ連絡。直接本人へ注意してもらった。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R7.10.31	① 七沢学園（粗暴行為）来週からの実習について、提出物の助言をするも布団に潜って黙ってしまった。言葉で伝えて欲しいと促したところ、突然職員の首をヘッドロックのように締めて頭突きもしてきた。顔面に殴りかかってくるため、ベッドの方に倒れこんだ。その後も顔を中心に殴ってきたため、職員も振り払った際に、どこかの部分が本人の右頬辺りに当たった様子。 ② 10月31日 県障害サービス課・千葉県鎌ケ谷市障害福祉課・厚木市障害福祉課 ③ 対応した職員は右頬あたりに擦過傷と左額にも腫れができた。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R7.11.2	① 七沢学園（粗暴行為）利用者同士が話をしていたが、一方が相手を避けるように居室へ入ったことで、トラブルに発展した。一旦は職員が介入し、気持ちを切り替えられたが、40分後に同様の事をし始めた。大声で「死ね」と言いながら、何度もドアを蹴っていた。その内に相手も激昂してしまい、居室で大きな音がした後に「殺してやる」と言いながら出てきて、叩き合いになった。直ぐに職員２名が両者を分けた。一方は直ぐに落ち着いたが、相手は向かって行こうとするため、職員２名でユニットの外へ移動させた。その際、職員へも頭突きがあった。その後も壁に自分の頭を打ち付ける、腕を噛むなど興奮が収まらないため、16:22 110番通報した。他ユニットから男性職員の応援を呼び、16:47から男性職員４名でユニット前の廊下でホールディングをした。16:55に警察官２名が到着。17:15にようやく脱力し、やり取りができるようになったため、ホールディングを解除、職員の薦めで頓服薬を服用した。17:30 警察官は落ち着いた事を確認し、退席した。 ② 11月2日 県障害サービス課・厚木児童相談所・厚木市障害福祉課 ③ 11月4日 神リハ整形受診。11月５日愛光病院精神科受診 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R7.11.14	①七沢療育園（死亡） 昭和48年に入所し、最重度の知的障害と重度の肢体不自由を合併した重症心身障害者であり、日常生活は全介助である。 令和７年10月に急激な血圧低下が見られ昇圧剤を使用した治療を実施した。その後、嘔吐、血圧の低下があり、昇圧剤の投与実施するも反応見られず、死亡を確認した。死因：尿路感染に伴う肺血症性ショック ② 11月14日 県障害サービス課・横須賀市障害サービス課・厚木市障害福祉課 ③ 11月14日 死亡確認 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし

施設名	発生日	事故・不祥事等の状況 ①発生時の詳細な状況 ②所管課における現場確認の状況 ③その後の経過 ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無 ⑤原因及び費用負担の有無 ⑥記者発表の有無
神奈川県総合リハビリテーションセンター	R7.12.2	① 七沢学園（粗暴行為）突然、サッカー大会に出たいとの申し出があったが、普段から練習に参加している人でメンバーを絞っていくことを説明した。それに納得できなかったのか、勤務室のドアをドンドンと強く叩く。職員がドアを開けると、その職員を体で押し込むように勤務室に入り込む。業務で使用しているノートパソコンが乗ったデスクをめがけて突き進もうをするため、その場にいた女性職員がデスクを引き、男性職員２名が本人を押さえ床に倒れこませる。本児は手足バタつかせて抵抗し、対応する職員の顔を殴る蹴る、噛みつこうとするなどの行動があり、110番通報した。 ② 12月２日 県障害サービス課・厚木児童相談所・厚木市障害福祉課 ③ 医療機関に現状を伝え今後のことを相談する。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R8.1.8	① 七沢療育園（骨折）就床介助時に左足背に出血があるのを支援員が発見し、看護師へ報告。看護師が患部を確認し、腫脹と熱感確認され、冷却処置を実施。翌朝には熱感、内出血ともに収まっていた ② １月８日 県障害サービス課・相模原市障がい福祉課 厚木市障がい福祉課 ③ １月９日 ９時に主治医観察、整形外科の受診依頼。整形外科指示にて10時14分レントゲン実施。13時20分「左第5指中足骨頸部骨折」と診断される。医師より保存的療法の指示あり。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R8.1.10	① 七沢学園（所在不明） 11:00頃、海老名へ行ってくると出発したが、19:30頃PASMOを落としたので今日は帰れない、友人宅へ泊まると本人から連絡あり。外泊せずに戻るようにと伝えたが、電話を切られてしまう。その後母親から学園に連絡があり、「子供から連絡があり、新宿に居るようだ」との内容。母からの報告では、本人は今日中には帰らないつもりであるようなので、警察に捜索願を出すことを了解いただいた。21:20に捜索願を厚木警察署に提出した。警察官３名が来園し、ご本人の情報を確認した。23:48本人から電話があり、「警察から電話があった。明日帰ると約束した。」と話す。 ② １月11日 県福祉部障害サービス課・平塚児童相談所・厚木児童相談所 ③ １月11日 12:53、本人より電話があり、13:00のバスで帰園するとのこと。13:35本人帰園。14:35、厚木警察に電話し捜索願を取り下げた。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R8.1.12	① 七沢学園（粗暴行為）午後勤務の職員から夜勤職員への引継ぎ中に利用者が勤務室に来たので、引継ぎが終わるまで待って欲しいと声掛けをした。その後、物を投げる音がしたので支援員が向かうとプラスチックのコップを複数個、力任せに壁や人に投げつけ、壁が数か所凹み、コップも割れて破片が床に散乱していた。また食堂にあったほうきを振り回し壁を叩く、職員へ向けて投げることもあった。しばらくそのような状態が続いていたため、他職員に情報を共有した。不穏の状態が10分以上続いたため、警察に連絡することを伝え、21:00 110番通報した。21:15警察官２名が到着、遅れて２名の警察官が到着した。職員から警察官に経過を報告した。警察官が質問したが、本人はソファーに座り、下を向いていた。警察官からは再度暴れることがあるので、夜勤を２名にできないかと打診されたが、急には難しいと伝えた。何かあれば１階や２階の夜勤職員と連携するように、対応が難しければ110番通報しても構わないと言われた。23:15に警察官は戻った。 ② １月12日 県障害サービス課・平塚児童相談所・厚木市障害福祉課 ③ 今後は入院による投薬調整も検討する。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし

施設名	発生日	事故・不祥事等の状況 ①発生時の詳細な状況 ②所管課における現場確認の状況 ③その後の経過 ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無 ⑤原因及び費用負担の有無 ⑥記者発表の有無
神奈川県総合リハビリテーションセンター	R8.2.22	① 七沢学園（粗暴行為）本児が、勤務室に来て、卒業後に移行予定のグループホームに行きたくないと言っていた。支援員が傾聴し、励ますなどしていたが、会話中に突然イライラし、職員の下駄箱を蹴る、スリッパを勤務室の窓に投げつけるなどが見られた。支援員がユニットに入ると支援員に向かって椅子を投げる、蹴るなどの行為があった。支援員は両手で制止しようとしたが、左眉毛の辺りに頭突きされた。19:15 110番通報をした。 ② ２月22日 県障害サービス課・平塚児童相談所・厚木市障害福祉課 ③ ２月23日 頭突きを受けた支援員は外来受診。打撲と診断。2/24 眼科を受診、眼球に異常無し。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R8.3.12	① 七沢学園（所在不明） 伊勢原支援学校訪問部の在籍児童は、本校にて卒業式の予行練習を行うことになっていた。８:50頃、他児童と共にユニットを出て、児童中央スタッフ前の廊下に集合し、マイクロバスで伊勢原養護学校へ行くことになっていたが、９:10頃乗車の際に本児がいないことに気付いた。 ② ３月12日 県福祉部障害サービス課・平塚児童相談所・厚木児童相談所 ③ 10:35 職員が捜索中に本児を発見。怪我等無し。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
	R8.3.30	① 七沢療育園（骨折）看護師が居室訪問。起床介護後、靴をはいていただく際に左足底部の発赤、内出血を発見。安静状態保ち、主治医に報告。 ② ３月30日 県障害サービス課・茅ヶ崎市障害福祉課・厚木市障害福祉課 ③ ３月31日 ９時に整形外科受診。左足中足骨折との診断が出る。原因は不明 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし